

**施策の方向**  
 ○市内にいるすべての人の生命・身体・財産を災害の脅威から守るための強化及び復旧復興体制の整備について、自助・共助・公助の考えの下、個人、地域、事業者、行政のそれぞれの役割に応じた取組を推進します。

**これまでの主な取組成果**  
 【これまでの主な取組成果】  
 現行基本計画（令和元年度～令和4年度）における取組を中心に、これまでの主な取組成果を記載しています。

**【施策の方向】**  
 施策の目指すべき方向を記載しています。

**成果指標（現状値と目標値）**

基本的取組	指標名
01-1	災害が発生した際、避難する避難者の市民の割合（上段：避難所、下段：指定避難所）
	災害時の情報を入手することができる市民の割合
01-2	特定緊急輸送道路の沿道建築物（補助対象）の耐震化率
01-3	防火貯水槽の整備区域（区域）

**【成果指標（現状値と目標値）】**  
 基本的取組ごとに、事業の実施による成果を把握するための指標を設定します。ここでは、現在把握できる現状値とともに、目標値設置の方向（「↑」などで表示）を示しています。今後基本計画事業の設定や市民アンケート調査などを踏まえ目標数値の設定を行います。

**次期計画4年間のポイント**  
 ○災害の激甚化への対応  
 ○防災・減災の推進  
 ○災害時の対応  
 ○災害時の支援  
 ○延焼遮断  
 ○流域全体的な防災力の向上  
 ○流転換と歩道整備  
 ○総合的な治水対策を構築する。

**【次期計画4年間のポイント】**  
 各施策における主要課題などを踏まえた次期基本計画期間（令和5年度～8年度）における取組のポイントに記載しています。

**基本的取組の内容**

**01-1 防災体制の充実**

- ◇地域と市が協働した地域防災力の向上の取組
  - ・防災教育の日や総合防災訓練をはじめとした市が実施する訓練において地域の方々と市職員の協働の訓練の実施
  - ・地域で実施する訓練へ市職員が参加する訓練の実施
  - ・方々と顔の見える関係を構築
- ◇自助・共助の取組の推進による地域の防災体制づくり
  - ・防災備蓄品の活用による地域の防災体制づくり
  - ・防災備蓄品の活用による地域の防災体制づくり
  - ・防災備蓄品の活用による地域の防災体制づくり
- ◇情報伝達能力の向上
  - ・世代間の情報格差に留意した情報伝達手段の多重化、デジタルデバインド対策
  - ・避難所の混雑状況の見える化に向けた避難所情報システムの整備
- ◇災害時医療救護体制の充実
  - ・医師会等との関係団体との訓練の実施

**01-2 災害に強い都市基盤の整備**

- ◆雨に強い都市基盤の整備
  - ・雨水管理総合計画の策定
  - ・雨水貯留浸透施設の設置の推進
- ◇下水道管路の耐震化の推進
  - ・下水道管路の耐震診断の継続、老朽化対策と組み合わせた耐震化の推進
- ◇骨格となる都市基盤の整備
  - ・都市計画道路などの都市基盤の整備
- ◇特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化
  - ・震災時における復旧・復興の輸送経路となる特定緊急輸送道路に沿道建築物の耐震化促進

**01-3 消防力の強化**

- ◇消防団の円滑な運営と対応能力の向上
  - ・消防団の円滑な運営を図るため、処遇の改善等の取組による消防団員の確保に努めるとともに、消防団装備品等の充実
  - ・消防団の認知向上や若年層に向けた広報活動などの実施

施策の成果向上に向けた基本的取組及び主な取組内容を示しています。現行基本計画から変更している箇所は**太字・下線**で記載しています。

(凡例)  
 ◆・・・**基本的取組の内容（新規）**  
 ◇・・・**基本的取組の内容（継続）**

**新たな対応課題、継続的な対応課題等**  
 施策分野における新たな対応課題や継続的な対応課題を記載しています。

(凡例)  
 □・・・**現基本計画からの継続的な課題**  
 ☆・・・**現基本計画期間に生じた新たな課題**  
 ★・・・**次期基本計画期間における新たな課題**

**施策の推進、成果向上の視点**

デジタル技術の活用	DIS等災害情報システムを活用した受援応援体制の構築（デジタルデバインド対策を含む）
防災のまちづくり	防災市民組織などによる防災訓練の充実などの取組と、市民への災害時の情報伝達、企業を含む協定団体等との連携
脱炭素社会の実現	ローリングストックの視点を踏まえた備蓄品のフードロス削減
フェーズフリー	フェーズフリーの視点を踏まえた、防災備蓄品の効率的な活用

**【4つの施策推進、成果向上の視点】**  
 施策等の推進・成果向上やその他の施策への波及効果を期待する観点から、各施策において、下記の視点に基づく先駆的な取組やモデル事業を整理していきます。  
 ①デジタル技術の活用 ②共創のまちづくり  
 ③脱炭素社会の実現 ④フェーズフリー